

## 下妻校区コミュニティ協議会 意見交換会報告書

開催日時	令和元年12月17日(火) 19:00～
開催場所	馬間田公民館
参加人数	31人(コミュニティ協議会役員、民生・児童委員、学校関係者、生活支援コーディネーターなど)
内 容	<p>この意見交換会は、下妻校区の特徴や課題を見つけ出すほか、地域の課題に向き合いながら持続的な取り組みの検討を行うことを目的として、下妻校区コミュニティ協議会において実施しました。</p> <p>今回の意見交換会では、日頃から地域活動を担う役員や各種団体の委員約150人に対し、実施したアンケート結果を基に、参加者22名が5班に分かれ、意見を出し合いました。下妻校区の特徴や課題として、以下の意見が出ました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自慢できる点             <ul style="list-style-type: none"> <li>自然、緑豊か、住民同士の絆</li> </ul> </li> <li>○守る(残す)べき伝統・資源             <ul style="list-style-type: none"> <li>左義長、行政区独自の行事、お宮行事</li> </ul> </li> <li>○校区(地域)の課題             <ul style="list-style-type: none"> <li>夏祭りの開催、高齢者の居場所づくり、老人会の減少、高齢者の交通手段</li> </ul> </li> <li>○心配になった出来事             <ul style="list-style-type: none"> <li>下校時の見守り、老人会の減少、子ども会活動の低下</li> </ul> </li> <li>○将来、不安に感じる要素             <ul style="list-style-type: none"> <li>各団体や総代等役員の人材不足、伝統行事の継承者不足、空き家や田んぼ耕作放棄の増加</li> </ul> </li> </ul> <p>人材不足に対しては、顔が見える関係づくりやコミュニティ活動の重要性を広げるといった意見が出ました。高齢者の交通手段については、コミュニティバス「みどり号」の充実という意見がありました。その他、伝統文化の継承のためには、世代間のギャップを埋めるための話し合いや今までの考え方ややり方を変えていくことも必要ではないかという意見が出ました。</p>



▲意見交換会では、5グループに分かれ、テーマ毎に意見を出し合い、模造紙を使って発表資料を作りました。



▲最後に、各グループで話し合った内容を、発表しました。



▲4班でまとめた意見。

## 下妻校区コミュニティ協議会 意見交換会報告書

開催日時	令和2年1月9日（木）19：00～
開催場所	下妻小学校 児童会室
参加人数	17 人（行政区長、民生委員、PTA 会長など）
内 容	<p>○校区の特徴や課題を踏まえた取り組みの検討</p> <p>12月17日（火）の意見交換会で出た特徴や課題をテーマ毎に分類し、テーマに沿って、どんな取り組みができるかをA3用紙1枚（別添）にまとめ、1月9日（木）19時00分から下妻小学校児童会室で行政区長や民生委員、PTA会長など各代表者が集まる会議の場で情報共有を行いました。</p> <p>そして、まずは以下の3つの内容について取り組みをを行うことで協議を行いました。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 夏祭りの開催について 多世代交流を目的とし、地域住民の親睦を深めることを目的とし、下妻校区コミュニティ協議会が実施主体となり、次年度に開催する。</li> <li>2. 下校時の見守りについて まずは、どのような見守り体制が良いかなど、学校及び保護者の意見の取りまとめを行い、ニーズに応じた対応を行う。</li> <li>3. 高齢者の居場所づくりについて 高齢者が歩いて行ける場所が良いということで、各行政区の公民館を開設する、開設時間など具体的内容は、行政区毎に決める、その後は必要に応じて見直す。</li> </ol> <p>今後もこれらの取り組みの進捗状況を確認しながら、より良い方向に進むように見直ししながら進めていく必要があります。</p> <p>また、高齢者の交通手段や災害時の対応などのその他の課題についても、今後協議を進めていく必要があります。</p>

